

東海自然歩道

家山～春埜山～不動橋

日程：2015年 6月13日～14日

メンバー：浜口(L)、斎藤(光)、斎藤(幸)、他1名(浜口家内)

報告：

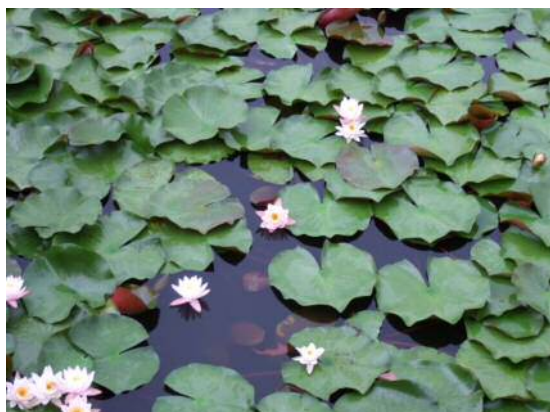


今回のルートは、途中で区切る場所が無く約 30km を一気に歩くことになるので、2 日目の朝早くにスタートできるように、初日は大井川方面への移動と観光にしました。

初日の宿は、斎藤(幸)さんが見つけてくださった大井川鐵道の沿線にある川根温泉「ふれあいコテージ」。折角なので、大井川鐵道のSLに乗車して30分ほどのSLの旅も楽しむことにしました。汽笛の音、リズムよく蒸気をはく音、鉄橋やお茶畑の中をゆったり走る蒸気機関車はお勧めです。SLの旅は家山駅までで、家山駅からはバスに乗り川根温泉へ。「ふれあいコテージ」は川根温泉・道の駅に隣接する宿泊施設です。大井川鐵道の線路沿いでもあるので、季節運行の機関車トーマスも敷地内からバッチリ撮影できました。SLの旅と温泉宿での宿泊、翌日が雨ならこのまま帰っていてもイイや、と思いました。

2日目(14日)は、朝方の雨もすぐに止み、コテージから歩いて5分もかからない大井川鐵道・川根温泉笹間渡駅へ。家山駅へは2駅戻り東海自然歩道の再開です。

家山駅から10分ほど歩くと最初のビュースポット「野守の池」です。池には朝早くでないとも見ることができないハスの花がいっぱい咲いてました。



「野守の池」から家山川（大井川支流）沿いを40分くらい歩くと次は「八垂の滝」に到着します。ここで家山川を渡り西に向かいますが、家山川を渡ったところに東屋があり小休止。「八垂の滝」は家山川を渡る橋から10mくらい先の川とは反対側の樹林の中にあっただので、道路（県道63号）から見える範囲のみ見物としましたが、沢に入ればどこにでもありそうな滝でした。

「八垂の滝」から歩くこと2時間少々で大日山金剛院に到着。ここでは行動食を摂り中休止。

そして、今回の最高到達点となる鳥居沢山（931.8m）を越え春埜山へ。春埜山・大光寺の大スギ、春埜山の山頂は既に6時間の歩行で寄り道する気力も無く全てパス。

春埜山を下り、舗装道路が大半のコースを更にひたすら歩き、午後3時半、本当は今回一番行きたかった新宮池への分岐に到着。しかし、標高差100m少々を登る狭い登り口は鬱蒼と暗い樹林の中。下草も茂っていて、途中で会った地元のお婆さんが「マムシが出る」と言っていたので、新宮池もパス。

舗装道路の長い下り道が辛くなってきたので、目的地も不動橋から手前の新不動橋に変更。約50分程度バス待ちの余裕を残して今回の歩行は終了としました。

ところで、バスに天竜浜名湖鉄道・戸綿駅まで乗車し、戸綿駅から天竜浜名湖鉄道で東海道新幹線・掛川駅には午後7時頃に到着したのですが、掛川駅には、楽しみにしていた駅弁が全く売ってなくてショックでした。缶ビールとつまみで凌いで帰路につきました。

静岡ルートもいよいよ終盤です。続きは10月に計画しています。今回の終点となった新不動橋から秋葉橋までのバス道の区間は省略し、秋葉橋から秋葉山への標高差約800mの登りからの再開となります。

<コースタイム>

6/14 家山駅 6:50-7:40 八垂の滝-9:55 大日山金剛院 10:20-11:55 鳥居沢山-
13:00 春埜山-15:30 新宮池への分岐-17:05 新不動橋バス停（バス乗車）
～戸綿駅（天竜浜名湖鉄道乗車）～掛川駅（JR東海道新幹線乗車・解散）